

ニコルズ（上市） 5年ぶり優勝 北信越壮年ソフトボール



ソフトボールの北信越壮年大会が10、11の両日、立山町の常願寺川公園野球場であり、ニコルズ（上市町）が決勝で、3連覇中の吉勝重建壮年（福井県）に4－0で快勝し、5年ぶりの頂点に立った。

立山町ソフトボール協会（坂田勲会長）の設立50周年記念大会として開催。北信越5県の代表2チームずつと前回覇者の吉勝重建壮年、準優勝のニコルズの計12チームがトーナメント戦で争った。

県勢はサンダーバード（立山町）が1回戦、戸出マスターズ（高岡市）が準々決勝で敗退した。ニコルズは初回到野末の三塁打から先制し、六回には江幡の安打から好機をつくり、広瀬の適時打などで3点を追加した。エース奥野が初戦から3連続完封し、昨年の雪辱を果たした。

▽決勝

ニコルズ

1 0 0 0 0 3 0 = 4

0 0 0 0 0 0 0 = 0

吉勝重建壮年

（ニ）奥野－江幡

（吉）塚田－嶋田

▽三塁打 野末（ニ）▽二塁打 大島（吉）







-
-